

人権週間

今週は、1学期の人権週間です。スタートの月曜日、人権集会を実施し、校長先生のお話を聴きました。校長先生のお話の内容は、「Bigriver's tweet」に掲載しておりますので、そちらをご覧ください。

「同和問題等、差別はなくなった」「わざわざ持ち出すから差別はなくならないんだ」と言う意見をよく聞きます。よく言われることですが、そうではありません。同和問題でも、今も謂われない誹謗中傷に苦しむ人がいますし、インターネット等の差別書き込み等はひとつの差別空間を生み出しています。



人権週間を機会に、日常生活を振り返ってみてはどうでしょうか？

私たちの日常生活でもそうです。「○○さんって、～なんだって」人から聞いた話を他へ流す、よくあることです。でもそこに差別や偏見が混ざっていないか？ 今、話題にしていることは当事者が聞いたら悲しむことではないか？ そんなところへも配慮ができる社会こそが、差別のない社会ではないかと思います。

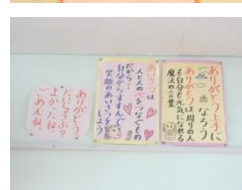
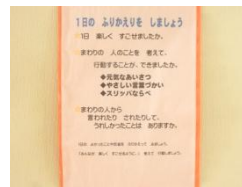
発足！ 久玉地区
コミュニティ・スクール

5月30日（月）午前10時より、久玉地区コミュニティ・スクール学校運営協議会が開催され、久玉地区コミュニティ・スクールが発足しました。

会の発足により、学校と地域の連携はより深くなり、子どもたちの学習支援がより効率的に行われることになります。これまでも、久玉小では、地域からた

くさんの支援をいただけてきました。会の発足により、これらの支援活動を体系化し、組織化するという意味合いもあります。

「すべては子どもたちのために」地域と一体となった久玉小の取組にもご注目ください。



ぐんぐんたいむも始まりました。今年度の1回目です。開始と同時に一言もしゃべらない2年生、難しい問題にもあきらめずに取り組む3年生、その姿に、1年間の学びの成果を感じました。さらに1年後の子どもたちの学びの姿が楽しみです。

Bigriver's tweet～校長室より～

5月30日から人権週間が始まりました。テーマは「仲間づくり」です。

久玉小学校には「久玉っ子 人権ストリート」があるのをご存知ですか。「ありがとう上手になろう～周りの人も自分も元気になる魔法の言葉～」「あいさつは人と人の心をつなぐもの～自分から進んで笑顔のあいさつをしよう～」という言葉を目にします。読みながら心がぽかぽかなります。これらは、仲間づくりにとってとても大切なことです。

子どもたちの日常をみていると、言葉遣いが乱暴であったり、友だちへの思いやりに欠ける言動が見られたり、それがきっかけでけんかになってしまうなど仲間づくりの勉強真っ最中です。

私たちの口から出る言葉は「仲間づくり」にとっても大切であることがわかります。使い方によって人を幸せな気持ちにしたり、悲しい思いをさせたりします。だったら、自分の言葉で友だちの心をやさしくしてあげる言葉を使えるようになれたないなと思います。どんな言葉が友だちの心をやさしくしてあげるのでしょうか。「ありがとう」「ごめんね」「だいじょうぶ」「よかったね」「どんまい」「どうしたの」「おはよう」・・・みんなが笑顔になるために、友だちと仲よくするために使えたらいいですね。人権ストリートは、「みんなが楽しく過ごせるように自分は何ができたかな。」と1日のふりかえりを呼びかけています。言葉は人と人をつなぐ大切なものです。家族で一緒にふりかえってあげてください。

ぐんぐん
たいむも
始まりました

一念発起は誰でもする。努力までならみんなする。そこから一歩抜き出るためには、努力の上に辛抱という棒を立てる。この棒に花が咲く。

いい言葉は心にひびく

わかってはいるです。でも、みんな決意することと実行することが別であること。でも五〇を過ぎても思わぬ夢はいつまでも夢のままにいうことに。